

# Solist

## 川島成道



視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院をスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。翌年、東京・サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点に、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、スロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団、ポーロニヤ歌劇場室内合奏団などのソリスト、欧州最高のオーケストラのひとつであるキエフ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーのソリストとして高い評価を得るなど、世界に活躍の場を広げている。

CDは、ファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなり大きな話題を集めて以来、2018年のデビュー20周年記念アルバム「J.S.BACH 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ BWV1001-1006」まで15枚をリリース。「ザ・ベスト」と「クライスターを弾く」、「無伴奏の世界」は、「レコード芸術誌」で特選盤に選ばれている。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。

# Orchestra



## TAKETA室内 オーケストラ九州

大分県竹田市、竹田市総合文化ホールグラントツタけたが2020年に開催した竹田版アーティスト支援事業に参加したアーティストを中心に2021年に竹田市で誕生した大分県初のプロオーケストラ。コンパクトな編成で全国各地をくまなく回り、本格的なクラシック音楽のみならず、さまざまなジャンルとのコラボレーションを通してクラシック音楽の普及に努める。2021年7月に竹田市、竹田市文化振興財団との連携協定を締結し、21/22シーズンより本格始動。第1回定期演奏会では川島成道をソリストに迎えたデビュー公演を開催予定の他、竹田市を中心に各地で様々な公演が企画されている。竹田市ゆかりの瀧廉太郎、佐藤義美の顕彰活動にも力をいれる。

### Violin



朝来桂一

### Violin



藤松敦仁

### Viola



生野正樹  
(休演)

### Cello



家長玲於

### Contrabass



森田良平

### Flute



重見佳奈

### Clarinet



松林紗代

TAKETA 室内オーケストラ九州  
FACEBOOK ページ QRコード



### Oboe



岩崎香奈  
(休演)

### Trumpet



鈴木徹平

### Piano



後藤秀樹